

「日々の理科」(第1132号) 2017 (H29)-8,12  
水彩画教室「スウェーデンの農場」  
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

スウェーデンのSkellefteå(シェルフェオー)という街の郊外にある農場です。それほど大きな農場ではなく、雰囲気も北海道や北軽井沢の農場と似ていました。牧草をまるめてビニールで巻いたもの(ロール・ベール・ラップ・サイレージ)もまったく日本と同じでした。この日は急いでいたので立ち寄りませんでしたが、次回はちょっと寄って、紅茶をいただきたいと思っています。



これが完成した絵です



1、スウェーデンの雲は美しかったです「晴天積雲」という雲です。あの立体感を正確に描きたいです。



2、遠くの雲ほど小さく、地平線に近いところに描きます。影の部分は「ブルーグレー」です。



3、農家の納屋は、窓が小さいので、壁の様子が勝負です。古い質感(エイジング)を出すために、金色の色鉛筆を併用しています。



4、白い枠のある窓は、北欧の建物の特徴です。これは農場の建物でも同じです。



5、ロール・ベールは、この絵では完全に脇役ですが、それらしく描かないと、画面を台無しにします。



6、スウェーデンの白樺は、樹皮が「美しい」ので、それをしっかり描くよう、努力します。